

平成26年度第1回歯科医師・歯科医療従事者集団研修会が 開催されました

4月20日（日）に、当センター研修室において平成26年度1回 歯科医師・歯科医療従事者対象の集団研修会を開催し、53名の方にご参加いただきました。



（講演の内容から）

「高齢社会にむけてより良い歯科医療を提供するために」

— 特にがん患者の歯科医療について —

東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座 教授 片倉 朗先生

がん患者では治療期から終末期の各病期において、常に口腔と関連した不快症状が伴い、これらは治療の質と患者のQOLにかかわっています。今回先生は、がん患者に対する歯科的な問題と対応について、3つの大きな柱を挙げて講演されました。

【1. がん患者では口腔にどんな問題が生じているのか？】

がん治療の中でも放射線療法や抗がん剤を用いた化学療法は、がん細胞に作用してDNA損傷を与える一方で正常細胞にも作用して、上皮基底細胞死や炎症性サイトカインの放出により紅斑や潰瘍を形成します。そのため口腔粘膜炎、口腔乾燥、口腔感染症、口腔カンジダ症、口腔菌由来の菌血症や肺炎、味覚障害、さらにう蝕や歯周病を引き起こすことがわかっています。

【2. がん患者でなぜ歯科が求められているのか？】

がん治療の開始前から歯科が介入し、口腔内のアセスメントおよび感染巣のスクリーニングを実施するとともに、必要な歯科治療、および歯科衛生士を中心とした予防指導・処置を実施します。周術期口腔機能管理の目的は、入院中の歯や口のトラブルを軽減させること、患者の口腔衛生に対する意識を高めること、セルフケアが実施しやすい口腔環境を作ることです。今回の診療報酬改定にも反映された中医協の報告（25年11月）によれば、手術前から口腔機能管理を行うことによって、在院日数に対する10%以上の削減効果が有意に認められることが明らかにされ、周術期口腔機能管理の重要性が認識されました。

【3. がん患者への周術期口腔機能管理と歯科治療は何をするのか？】

治療前は歯磨き指導、専門的な歯面清掃、さらに必要なう蝕治療や義歯の調整、抜歯などを進めます。抗がん剤投与開始から1～20日は、白血球数が減少し2,000個/ μ lを下回る（Nadir）こともあります。この時期に歯科治療を進めると、歯性感染から菌血症や敗血症へ移行する危険があることから、歯科治療の回避期で

す。投与中に歯科治療が必要となったら、投与 20 日を過ぎ、白血球数が 4,000～6,000 個/μl まで回復してきた時期を確認してから開始します。歯科治療安全期に入っても、血小板減少や凝固線溶系異常などによる易出血、好中球減少やステロイド投与による易感染性、BP 製剤投与や放射線治療による顎骨壊死、開口障害、口腔乾燥、創傷治癒不全などの問題点があるので、全身状態について医科担当医と情報を密に交換しながら歯科治療を進める必要があります。

その他当日は、がんに対する化学療法や骨髄移植治療、放射線治療で高頻度にみられる口腔粘膜炎について、Grade 別にその症状、摂ることのできる食事、実際の口腔ケアの方法を症例を通して紹介されました。

「障害者歯科における保険点数の留意点」

～平成 26 年 4 月診療報酬改訂から～

1. 訪問診療における、著しく歯科診療が困難な者に対する評価の見直し

改定の重点課題として、在宅歯科診療の充実が挙げられています。著しく歯科診療が困難な者に対して、訪問診療で処置等を行った場合の 100 分の 50 加算について見直されました。

① 歯科訪問診療料および歯科診療特別対応加算を算定する場合

処置すべて、手術すべて、歯冠修復または欠損補綴について算定

② 歯科訪問診療料のみを算定する場合

抜髄、感染根管処置、拔牙（乳歯・前歯・臼歯）、口腔内消炎手術、有床義歯修理について算定

2. 周術期口腔機能管理の充実

周術期における口腔機能管理等の、医療機関相互の連携を推進してゆくために、歯科・医科ともに点数の新設、改定が行われました。

（歯科）周術期口腔機能管理料（I）手術前：190 点→280 点

なお今回は、歯科を標榜していない医科医療機関から歯科医療機関への紹介をより活発化させるために、歯科医療機関連携加算 100 点（医科）が新設されました。

「センター新任職員の紹介」

本年 4 月 1 日から、歯科医師の平林幹貴がセンターに入りましたのでご紹介いたします。



歯科医師 平林 幹貴（神奈川県出身）
平成 15 年 3 月 日本歯科大学新潟歯学部卒業
4 月 日本歯科大学歯科麻酔学講座入局
平成 26 年 3 月 日本歯科大学退職 / 4 月 当センター採用
日本障害者歯科学会認定医 / 日本歯科麻酔学会認定医

平成 26 年度 集団研修会・個別研修会 受講申し込み受付中！

ホームページでは 26 年度に開催される研修会をご紹介しますので、ぜひご覧ください。
申し込み・問い合わせ先：センター研修担当まで

「連携だより」に関する問い合わせ：東京都立心身障害者口腔保健センター・医療連携室
TEL (03) 3235-1141 (代) / FAX (03) 3269-1213
URL <http://www.tokyo-ohc.org>